会 議 録

会議名称	平成29年度 第1回加古川市スポーツ推進審議会
開催日時	平成29年6月29日(木) 午後3時30分から午後5時00分まで
開催場所	加古川市立勤労会館101会議室
出席者	<p><委員> 高見会長、戎木委員、松野委員、難波委員、小林委員 小寺委員</p> <p><市> 田淵教育長、井部部長、野村参事、塩谷課長、 川上副課長、小口係長、飯塚書記、下尾事務員</p>
会議次第	<p>開 会</p> <p>1 会長あいさつ</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 審議事項</p> <p>(1) 加古川市スポーツ振興基本計画後期アクションプラン進捗状況について</p> <p>(2) 加古川市スポーツ推進計画の基本方針について</p> <p>(3) 今後の加古川市スポーツ推進審議会のスケジュールについて</p> <p>(4) その他</p> <p>閉 会</p>

審議内容(発言者、発言内容、審議経過等)	
開 会	
1 会長あいさつ	会長あいさつ
2 教育長あいさつ	教育長あいさつ
3 審議事項 (事務局)	(1) 加古川市スポーツ振興基本計画後期アクションプラン進捗状況について <事務局説明>
(会長)	加古川市の人口規模でこれだけのイベントを行っているのはすごいと思うが、その一方であまり市民に取組が広まっていないのではないかと。多くの部局が取組を行っていることを庁内全体では認識しているのか。
(事務局)	社会教育・スポーツ振興課で毎年、このような事業の報告をまとめているのみで、特に周知はしていない。

(教育長)	もっとPRが必要だと感じる。
(事務局)	内部で連携でき、また、わかりやすく伝えることができる全庁的な組織が必要ではないかと考えている。
(委員)	障がい者スポーツとの関わりのなかで、実際に障がい者が参加しているものは、どの程度あるのか。
(委員)	『後期アクションプラン進捗状況』の日岡山体育館の欄に、平成29年度実施予定として、「障がい者スポーツの体験会を開催する」とある。今まで、体育館の運営側も障がい者スポーツにあまり関わっていない。スポーツ推進委員としても、もっと障がい者スポーツに関わっていきたいと思っているので、イベントの企画は体育館が行い、その指導や手伝いはスポーツ推進委員が行う等、体育館とスポーツ推進委員とで協力していけたらと考えている。 また、スポーツ推進委員会の障がい者スポーツへの関わりとして、今年度はフライングディスクとシッティングバレーボールの二つを主に取組んでいく予定としている。
(会長)	実施にあたり、障がい者の方へ参加を呼び掛けるパイプはあるのか。
(委員)	今のところあまりない。 シッティングバレーボールについては、県の障害者支援課に声掛けをしている。障がい者スポーツに取り組もうとしているが、障がい者の方の参加が少なく、健常者と一緒に募集をしても健常者の方しか集まらないといった状況である。中々次の段階へ進めていない。
(会長)	市役所の内部で、障がい者の方や団体に声掛けができる部局はないのか。
(事務局)	福祉部局に障がい者支援課がある。障がい者支援課では、障がい者団体と多く関わっているので、そこを通じてイベントの周知等を行っていかなければならないと考えている。 市内に、障がい者スポーツ団体はない。
(事務局)	障がい者支援課としては、毎年「ふれあいスポーツ教室」を開催しており、障がい者支援課が参加者を募って実施している。 平成27年度からはスポーツ推進委員会と協力して行っているが、基本

	<p>的に障がい者支援課としては、福祉施策を中心に取り組んでおり、中々スポーツ関連の取りまとめができていない。また、障がい者団体の組織率自体も下がってきており、組織内の高齢化も進んでいることから、スポーツから足が遠のいてしまっている方が多いのではないかと。周知活動を行っても参加者が集まりにくい状況になってしまっている。</p> <p>障がい者スポーツの窓口を設置し、取り組んでいくことは大事だと考える。</p>
(委員)	<p>それぞれの団体で障がい者スポーツに取り組もうとはしているが、障がい者の方にどのようなスポーツをしたいか等、意見を聞く場がない。</p>
(会長)	<p>スポーツ推進委員会やスポーツクラブへ障がい者スポーツの実施を促しても、障がい者団体との関わりがないため、どのように動いていいのかが分かりにくい。障がい者の方へ情報を提供する基盤を考えていく必要がある。</p> <p>次期計画の中でも、障がい者スポーツは大事な項目になっていくと考える。</p>
(委員)	<p>「加古川市スポーツネットワーク委員会」の設立によって、体育協会・スポーツ推進委員会・NPO法人加古川総合スポーツクラブが一緒になって話し合う場も増えてきているため、行政としても健康課やウェルネス推進課等との横の繋がりをもっと増やしてほしい。様々な事業と一緒に取り組むことで、事業の幅も増えると思う。</p>
(会長)	<p>それぞれの課が複数の事業をされているので、それを上手く繋げることができればもっと大きなことが出来るのではないかと。</p>
(委員)	<p>高齢者でスポーツをされる方は増えていると感じるが、老人クラブ内でのグラウンド・ゴルフ競技においては、多くの団体がそれぞれ取り組んでいるため、一体感がない傾向にある。</p> <p>また、老人クラブの数は年々減少しているため、どう対策をするかが問題である。</p>
(会長)	<p>高齢者の方も多様化しており、新しい老人クラブ像が必要になってきていると感じる。高齢者予備軍の方たちに楽しんでもらえるスポーツの情報提供をする必要があるのではないかと。</p>
(委員)	<p>高齢者予備軍のスポーツ人口をいかに増やすかが今後の大きな課題だ</p>

	<p>と思う。</p> <p>多くのイベントが実施されているのに、もったいないと感じる。スポーツイベントの「見える化」が必要なのではと考えている。</p>
(会長)	<p>今後、市民の誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるような幅広い取組も考えていく必要がある。</p>
(事務局)	<p>(2) 加古川市スポーツ推進計画の基本方針について <事務局説明></p>
(会長)	<p>「する・みる・ささえる」という言葉はすべてに含まれている。例えば、一つのスポーツイベントにも、する人・みる人・ささえる人とあり、あえて分ける必要はないと考えているので、基本方針は良いと思う。</p>
(委員)	<p>基本理念(案)が4つあるが、どの理念にするかによって基本方針も変わってくると思う。</p>
(事務局)	<p>文部科学省から出された「スポーツ基本計画」では、“共生社会”や“つながる”といった言葉が多く出てきているので、加古川市でもそれを踏まえて次期計画の基本理念の案として4つ提案している。</p>
(事務局)	<p>文部科学省のスポーツ基本計画に基づき“共生社会”、“つながる”といったキーワードを中心に基本理念の提案をしている。</p> <p>また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてグローバルな視点でどうスポーツに取り組んでいくかが、文部科学省のスポーツ基本計画には全面的に出されている。その中には、障害のある人・ない人が一緒にできるような施設整備、環境整備の面も含まれている。</p> <p>しかし、このスポーツ基本計画を全て活用するのではなく、加古川独自の理念が大事だと考える。</p>
(委員)	<p>「スポーツでつながる共生社会」という言葉はとても良いと思う。</p>
(会長)	<p>“つながる”という言葉はとても大事な言葉だと思う。スポーツを通じて色んな人が繋がっていくのは、とても良いことである。</p>
(委員)	<p>現在、障がい者レガッタに取り組んでおり、調べていると背もたれ付きの補助シートがあるみたいだが、加古川市では所有しているのか。</p>

(事務局)	加古川市には、漕艇センターがあるが、現時点で所有はしていない。今後、障がい者スポーツに取り組んでいくなかで、検討していきたい。
(会長)	障がい者の方にレガッタを楽しんでもらう、またレガッタを通じて皆が繋がっていくのはとても良いことだと思う。「市民だれもがスポーツに親しみ、つながる生涯スポーツ社会の実現」という案のように、皆が親しんで新しい繋がりが出来ていくような社会を目指すことが重要だと考える。このことを含めて、基本理念の案に関してどう思うか。
(委員)	“共生社会”という言葉はとても分かりやすいので、「スポーツでつながる共生社会」はシンプルでとても良いと思う。
(委員)	オリンピック・パラリンピックを契機に、スポーツを起点に何かをしよう、みんなで繋がろうという機運が上がってきているので、「つながる生涯スポーツ社会」は良いと思う。
(委員)	スポーツに親しむということは様々な事業で浸透してきているかと思うので、次の段階として、組織の人もつながるということから、「市民だれもがスポーツに親しみ、つながる生涯スポーツ社会の実現」が良いと考える。
(会長)	<p>皆さんの意見も踏まえて、基本理念は「市民だれもがスポーツに親しみ、つながる共生社会」はどうか。また今後、計画を策定していく中で、適宜変更することもある。</p> <p>基本方針に関しても、「スポーツ参画人口の拡大」、「スポーツを通じた共生社会の実現」、「スポーツ環境の充実」の三本柱で進めていくことでよいか。</p>
(委員)	異議なし。
(委員長)	(3) 今後の加古川市スポーツ推進審議会のスケジュールについて ＜事務局説明＞
(会長)	次回の会議では、今回決定した基本理念をもとに、成果目標を定め、その数値目標の妥当性などを提案させていただく。
閉 会	